

大坂正明さんは無実

改憲・戦争阻止！

労働者の安倍への怒りと一つに結びつき

大坂無罪奪還を

沖縄闘争闘いでっち上げ

大坂正明さんは1971年11・14沖縄闘争を星野文昭さんとともに闘いました。デモ隊との衝突で警察官が死亡したことをめぐり、星野さんと同じく「殺人罪」をでっち上げられ、46年間も指名手配と闘ってきました。2017年に逮捕・起訴され、現在裁判に向けた手続きが進められています。

大坂さんは無実です。この裁判は権力でっち上げの全貌を暴く裁判です。また辺野古新基地建設に反対し、現在も続く沖縄基地問題の根幹を問う裁判です。一貫して無実を訴えている大坂さんとともに闘い、早期奪還を勝ち取りましょう。

皆様のご支援を訴えます。

星野文昭さんの遺志を継ぎ 大坂無罪＝星野再審勝利を

大坂さんの裁判は、今年5月に獄死した星野文昭さんの裁判と、証拠構造が全く同じです。物証は一つもなく、権力がでっち上げたデモ参加者の「供述調書」のみが唯一の証拠とされています。

このデタラメを暴くことは、星野さんの再審無罪を実現する闘いでもあります。

司法の改憲＝裁判員裁判と対決

大坂さんの裁判は、裁判員裁判の手続きで進められています。裁判員のためにと称して簡易・迅速・わかりやすさを掲げていますが、被告人の防御権を著しく侵害する憲法違反の制度です。検察側立証が終わる前から弁護側立証を求められる「争点整理」は、戦後刑事司法の原則を破壊するものです。大坂裁判は司法の改憲＝裁判員制度に反対して闘います。

安倍政権と対決し、社会 を揺るがす大裁判闘争へ

改憲・戦争への動きが加速する中、安倍政権にとっても「重大裁判」です。東京地裁を揺るがす大裁判にしましょう。

不屈・非転向で闘う大坂さんとともに、戦争・改憲と対決し社会を変革する大きな闘いで大坂さんの無罪・奪還をかちとろう！

大坂裁判事務局

東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

Email : oosakaqen@protonmail.ch

Blog : <http://oosaka1114.blog.jp/>

(2019年11月3日)

大坂正明さんの11・3集会アピール

労働組合の再生と国際連帯の真価を発揮し 戦争前夜の弾圧と排外主義を打ち破ろう

労働者集会は、労働組合の再生と国際連帯を掲げて闘ってきましたが、今年はこの二つのスローガンの真価が厳しく問われています。関生支部への度重なる弾圧による組合潰しと、「嫌韓」を煽り排外主義を強める攻撃が際立つ情勢にあるからです。

この両者の攻撃が軌を一にしていることははっきりして偶然ではありません。その根拠は改憲と戦争体制作りの本格化です。次の戦争に直結した、戦争前夜型攻撃と言えるものです。

日本の労働者・学生の戦争への危機感はまだまだ不足しています。新自由主義攻撃の基本的イデオロギーである「自己責任」にからめとられ、支配階級がふりまく「今だけ、金だけ、自分だけ」の生き方にまきこまれています。また他方では、既成労組が体制に依存し、産業報国会化するという腐敗が、労働者を幻滅させ労働組合への不信を生み出していることもあります。日本の労働者・学生は、韓国民主労総や香港の労働者学生との闘い、あるいはアメリカの教職員のストライキ闘争などに学ぶことが重要です。

戦争にかりだされ、殺し殺される役割は、労働者学生に押しつけられます。とりわけ貧困を強いられている人たちです。こんな極限的な理不尽を許すわけにはいきません。戦争を止められるのは、世界の労働者、学生、民衆が連帯し、団結して闘う力だけです。あらためて労働組合の再生と、国際連帯の重大な意義を確認しましょう。

また今年の労働者集会は、星野さんが5月に虐殺されてから初めての集会です。星野さんも労働者集会には大きな期待を寄せていました。彼の遺志を継ぐことを参加者全員で確認してほしいと思います。

私もみなさんとともに団結して闘います。

2019年10月20日 大坂正明

大坂さんを激励しよう

大坂さんは東京拘置所在監です。

接見禁止ですが、現金・切手、書籍（新聞・パンフレット不可）であれば差し入れは可能です。

差し入れ行動で団結のあかしを示そう！

詳しくは大坂裁判事務局にお問い合わせください。

霞が関街宣やっています

毎月、星野救援会と合同で東京地方裁判所前で
裁判員裁判からの除外を訴え、宣伝活動を行っています。

街宣の日程は『星野新聞』にも掲載しています。

大坂裁判の最新情報は、ぜひブログをご覧ください。

